

[成果情報名] 露地栽培「麗紅」の商品性の高い果実階級とその果実を生産するための摘果指標

[要約] 露地栽培「麗紅」で商品性の高い果実はL級から2L級の果実であり、その果実を生産するための摘果指標として満開80日後及び100日後の果実横径が利用できる。

[キーワード] 麗紅、横径、果実階級

[担当] 農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 普及

[背景・ねらい]

「麗紅」は果皮が滑らかで橙色が濃い商品性が高い果実特性を有するが、果実の大きさにバラツキが大きく、そのため外観や品質の変動が大きい傾向にある。そこで目的とする階級の果実を多く生産するための摘果指標を作成する。

[成果の内容・特徴]

1. 3L級以上の大果では果面が粗く、外観が劣る。M級以下の小果では果実中の酸含量が高い(表1)
2. 満開62日後と収穫時の横径の相関は $r=0.27$ と低く、摘果指標とはなり得ない(図1)。
3. 満開83日後と収穫時の横径の相関は $r=0.67$ 、満開99日後とは $r=0.78$ と高く、その時点の横径から収穫時の横径を精度よく予測できることから摘果指標として利用できる(図2、3)。
4. 収穫時の階級がL級となる果実の満開80日後の横径は約29mm、2L級は約32mmである。また満開100日後の横径はL級で約39mm、2L級は約43mmである(表2)。

[成果の活用面・留意点]

果実肥大は着果の多少や気象条件に左右されるので、摘果指標となる果実横径は園地や年により変動することがある。

[具体的データ]

表1 果実階級と糖度及び酸含量(2009)

| 階級 | 粗滑程度 ² | 糖度 (Brix) | 酸含量 (g/100ml) |
|-----|-------------------|--------------|------------------|
| S | 0.0 | 13.2 | 1.41 |
| M | 0.0 | 12.6 | 1.36 |
| L | 0.0 | 12.6 | 1.25 |
| 2 L | 0.3 | 12.4 | 1.21 |
| 3 L | 0.8 | 12.4 | 1.26 |
| 4 L | 1.5 | 12.3 | 1.21 |

² 粗滑程度は滑:0、中:1、粗:2の3段階で評価した

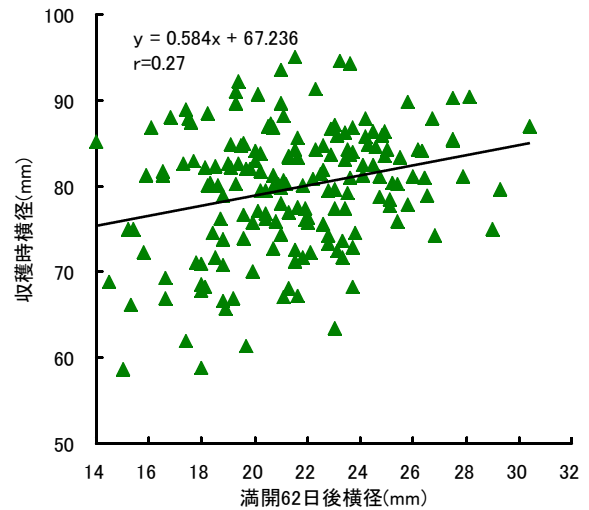


図1 満開62日後と収穫時の横径の関係(2009)

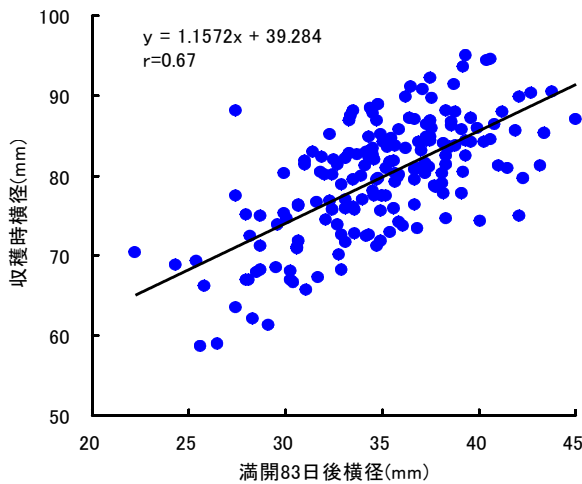


図2 満開83日後と収穫時の横径の関係(2009)

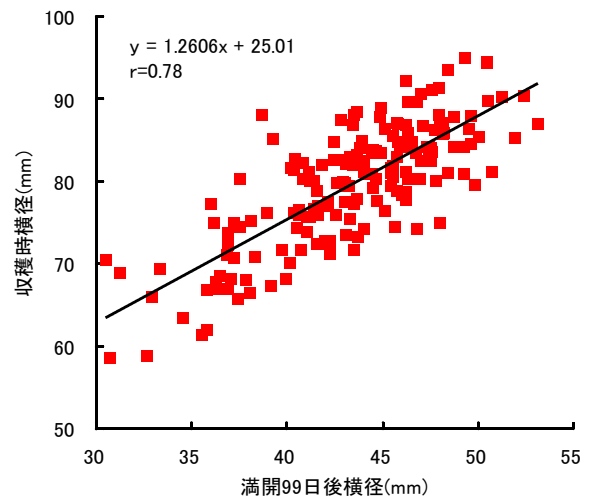


図3 満開99日後と収穫時の横径の関係(2009)

表2 露地栽培「麗紅」の果実階級と幼果期の横径との関係

| 階級 | 収穫時 横径 (mm) | 2008年 | | 2009年 | |
|-----|-------------------|------------|-----------------------|------------|--------------------------|
| | | 果実重 (g) | 横径(mm) 満開80日後 | 果実重 (g) | 横径(mm) 満開80日後 満開100日後 |
| S | 55~61 | 92.0 | 25.0±1.6 ² | 87.8 | 24.7±0.6 32.0±1.3 |
| M | 61~67 | 110.5 | 27.2±1.3 | 114.6 | 27.1±1.7 36.2±1.6 |
| L | 67~73 | 132.3 | 28.6±2.2 | 142.4 | 29.2±3.4 39.0±3.4 |
| 2 L | 73~80 | 169.6 | 31.4±1.7 | 182.0 | 32.6±3.4 43.0±3.1 |
| 3 L | 80~89 | 218.3 | 34.4±2.5 | 233.5 | 34.3±3.2 45.9±3.0 |
| 4 L | 89~ | 286.1 | 37.3±3.0 | 291.2 | 36.9±2.4 49.4±2.0 |

² 平均値±標準偏差

[その他]

研究課題名：気候温暖化に対応したカンキツ栽培技術の開発

予算区分：県単

研究期間：2009～2013年度

研究担当者：林田誠剛